USA All Star Challenge Competition 2018 EAST/WEST

＜演技規定＞ Mini/Youth/Mix編成　Jazz部門

※Mini/Youth編成は今大会から新設（通年実施）

項　目	Mini/Youth編成	Mix編成
演技時間	1分30秒以上　2分00秒　以内	1分45秒以上　2分30秒　以内
衣　　装	自由とするが、年齢に相応で全ての観客に対し適切な衣装とメイクを心がけること	
アクセサリー	衣装としてのアクセサリーは認める （肌や床を傷つける危険があるものは不可）	
履　　物	足裏全部を覆っている物を着用 （靴下やタイツのみは禁止 ・ 床を傷つける危険があるものは不可）	
手具・大道具	装着するもの、手に持つ小道具は使用可（Pom、大道具は不可） 演技中の着脱も可	
構　成	一体感のあるシャープでしなやかな動きと、ダンステクニカルスキルを含む内容	
セーフティ 全　　般	① 安全性を考慮していない危険な行為、フロアを傷つける恐れのある行為は禁止 ② 手具・衣装・その他アクセサリー・装飾品は演技中に落下しないように配慮しなければならない ③ 怪我等の事情で、硬く曲がらない・表面に凹凸があるギプス・コルセットなどをする際は適切な素材でカバーすること ④ 手に全体重をあずける動作は、何も持っていない状態で実施しなければならない（例外：前転・後転） ⑤ 立位・逆さの体勢やターンから、膝・腿・座位・うつぶせ・仰向け・スプリットポジションの姿勢になる場合は、少なくとも片手または片足に先に体重が乗るように行うこと ⑥ ジャンプ・空中から演技フロアへ着地する場合は、少なくとも片足に先に体重が乗るように行うこと 但し、ジャンプ・空中に浮いた際の手の位置が腰レベルより下の場合に限り、手（片手含む）からの着地が可能。後方への進入は不可。（ダブルシフトは実施可。シュシュノバのバリエーションは全て禁止）	
タンブリング 個人で 実施するもの	タンブリング（アクロバティック、体操的な技。フロア上から始まりフロア上で終わる個人で行えるもの）は、**実施できるが推奨されない** ＜有効技＞に限り実施可（以下①～③を遵守しなければならない） ① 静止・歩行から実施可 （走り込み・飛び込み・ホップなど勢いをつけてからは不可） ② タンブリングは単発・コンビネーションともに実施可 ③ タンブリングをしている選手の上や下を、タンブリングしながら通過・越えることは禁止	
	＜有効技＞ 前転、後転、ショルダーロール、側転、チェストロールダウン、倒立、頭支持倒立、立ちブリッジ、前/後方転回 ※有効技は片手での実施も可 ※手具を持った手に全体重をあずける動作は、セーフティ違反になるので注意（前転・後転は持ったまま実施可） **＜禁止技＞**上記以外全て　※【補足】②参照	
ダンスリフト パートナーリング グループ/ペアで 実施するもの	① 演技フロアに体の一部が触れている状態で、人に体重を預ける・寄りかかるなどは実施可 ② ダンスリフトの実施不可 （他者を持ち上げる・下ろす、または他者に持ち上げられる・下ろされる動作） ③ 人に体重をかけて演技フロアから完全に離れる行為（馬とび・背中を転がる・人の上に乗るなど）は、下記の条件を満たしている場合のみ実施可 a. 補助されず自力で行う事 b. フロアから離れた状態で、動きを止めない事（人にしがみついたまま、乗ったままの状態などは不可） c. 演技フロアに着地するまで体重をかけている相手と触れ続ける事 ※Pomを持った手に全体重をあずける動作は、セーフティ違反になるので注意	

【 補 足 】　①タンブリング禁止技・・・　有効技以外の全てのアクロバティック・体操的な技
＜例＞ ロンダート、前方・後方倒立回転跳び、前方・後方宙返り、飛び込み前転、側方宙返り、ヘッドスプリングなど